



平成 29 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 モバイルクリエイイト株式会社
代表者名 代表取締役社長 村井 雄司
(コード：3669 東証一部 福証)
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 岐部 和久
(TEL. 097-576-8181)

子会社の業績予想の修正に関するお知らせ及び
平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社石井工作研究所が、別添のとおり、平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績及び通期業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、子会社の業績予想の修正及び最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 2 月 13 日に公表しました平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 29 年 2 月 13 日)	百万円 3,989	百万円 141	百万円 173	百万円 55	円 銭 2.41
今回修正予想 (B)	3,700	105	150	55	2.41
増減額 (B-A)	△289	△36	△24	—	—
増減率 (%)	△7.3	△25.6	△13.8	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	—	—	—	—	—

(注) 平成 28 年 12 月期は決算期の変更により、平成 28 年 6 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までの 7 ヶ月間の決算となっており、第 2 四半期報告書の提出がありません。このため、今回修正を行った連結業績予想に対応する前期第 2 四半期実績については記載しておりません。

2. 修正の理由

情報通信事業につきましては、売上高が計画を下回ったものの、コスト削減等により利益面では計画を上回りました。一方、当社子会社における装置等関連事業につきましては、自動車関連業界の新規投資が一時減少した影響により売上高が減少しました。また、新分野の医療関連装置や自動車設備関連装置の開発要素の多い新規案件が重なったことによる製造原価の増加や自動車関連業界の発注遅れによる工場稼働率の一時低下に加え、新規設備投資の減価償却費等が増加したことにより、前回発表に比べ利益が減少しました。この結果、上半期の連結業績は、売上高、営業利益、経常利益共に計画未達となるものの、非支配株主に帰属する四半期純利益の計上が予想より減少したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は計画どおりの見込みであります。

なお、下半期の装置等関連事業は計画どおり好調に推移し、上半期の計画未達を情報通信事業がカバーできる見通しであることから、通期連結業績予想の変更はございません。

(注) 上記の予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上



平成 29 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 石井工作研究所
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐藤 一彦
 (コ ー ド 6 3 1 4 J A S D A Q)
 問 合 せ 先 取締役管理部長 時枝 典生
 T E L (097)544-1001

平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 7 月 14 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 2 月 10 日の平成 28 年 12 月期決算発表時に開示いたしました平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 29 年 12 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,600	80	115	100	12.87
今回実績 (B)	1,550	25	65	55	7.08
増減額(B-A)	△50	△55	△50	△45	
増減率(%)	△3.1	△68.8	△43.5	△45.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 28 年 12 月第 2 四半期)	1,580	143	148	272	35.11

平成 29 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,600	180	220	180	23.16
今回修正予想 (B)	3,600	125	180	155	19.94
増減額(B-A)	0	△55	△40	△25	
増減率(%)	0.00	△30.6	△18.2	△13.9	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 12 月期)	2,666	207	220	339	43.71

(注)当社は、平成 28 年度より決算期を 3 月 31 日から 12 月 31 日に変更しております。従いまして、(ご参考)前期実績(平成 28 年 12 月期)の決算期間は、経過措置となり 9 ヶ月間(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)、平成 29 年 12 月期の決算期間は、12 ヶ月間(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)となっております。

2. 修正の理由

(第2四半期累計期間の業績予想の修正)

当第2四半期累計期間につきましては、海外経済状況の不確実性のため、自動車関連業界の新規投資が一時減少したことを受け、当社の受注も減少した結果、売上高は前回(平成29年2月10日)発表致しました予想を5千万円下回る1,550百万円となる見込であります。

損益につきましては、新分野の医療関連装置や自動車設備関連装置の開発要素の多い新規案件が重なったことによる製造原価の増加や自動車関連業界の発注遅れによる工場稼働率の一時低下及び新規設備投資の減価償却費増加や働き方改革のための外注費増加等を要因として原価が上昇した結果、前回発表に比べて営業利益は55百万円減少して25百万円、経常利益は50百万円減少して65百万円、四半期純利益は45百万円減少して55百万円となる見込であります。

(通期の業績予想の修正)

通期の売上高につきましては、自動車関連業界の発注も回復し、当社の下半期の売上は2,000百万円以上が見込まれるため前回予想の3,600百万円から変更はございません。

損益につきましては、下半期は、受注増加による工場稼働率の上昇や原価管理、工程管理の強化及び新規設備投資効果等により、期初の計画通りの利益を見込んでおります。しかしながら、上半期の計画未達により、通期の損益は、前回(平成29年2月10日)発表致しました予想を下回る見込であり、営業利益は55百万円減少の125百万円、経常利益は40百万円減少の180百万円、当期純利益は25百万円減少の155百万円に修正いたします。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上